

## 『子どものイヤイヤ期の対応について』

お正月は、普段会えない親戚の人に会う機会が多くなります。そのときに「大きくなったね」などの言葉をかけられることもあります。毎日子どもと接していると気づきにくい、子どもの成長を発見できてうれしいですね。

1歳半～2才前後に向けて、赤ちゃんの時にはできなかったことが成長と共にできることが増えていき、自分の気持ちを言葉や動作でも伝えられるようになってきます。同時に、何でも「イヤだ！」ということが増える時期にもなります。そんな時は子どもに共感する言葉(例えば、「〇〇したかったの?」など)をかけると、子どもの気持ちがおさまることがあります。言い聞かせてもすぐに子どもが聞いてくれないときは、イヤイヤがおさまるまで待ちましょう。しばらく様子を見て声をかけてあげると、話を聞いてくれることもあります。たくさんの経験の中で我慢することや、自分の気持ちを切り替えが少しずつできるようになるかもしれません。イヤイヤ期は子どもの自我の芽生えでありほとんどの子どもが迎えるので、成長の中のひとつと考えておおらかに対応してください。



太宰府市子育て支援センター

■919-6001